

## 放射線・放射能の現状を理解するために

家庭訪問お世話になりました。家庭訪問の中で、放射能・放射線等についての不安や質問等がいくつかありましたので、学校だよりで取り上げました。

〔 Q 鬼怒川小学校の校庭は大丈夫ですか。 〕

5月中旬には県内全ての学校の放射線量が測定され、5月21日の下野新聞で報道されました。その結果、本校校庭の放射線量は 0.55  $\mu$ Sv/時（1時間あたり0.55マイクロシーベルト）でした。現在、文部科学省は、3.8  $\mu$ Sv/時を安全基準としており、この基準以下の学校は、校舎・校庭などを平常通り利用しても差し支えないと判断しています。したがって、本校では平常どおり校庭での活動を行っています。

〔 Q 日光市では、毎日放射線量を測っているのですか。 〕

日光市では、4カ所で1日に5回、放射線量を測定し、日光市のホームページで公開しています。藤原地域では、藤原消防署で測定しています。その結果は、0.15～0.2  $\mu$ Sv/時程度です。（日光市で東日本大震災以降に放射線量が最大になったのは、3月17日午後1時の1.1  $\mu$ Sv/時でした。）

〔 Q 鬼怒川小学校では定期的に放射線量を測らないのですか。 〕

日光市では、各学校で放射線量を測定できるよう放射線測定器具を業者に依頼してあります。学校に納品されたら、定期的に測定してホームページ等で公表いたします。

〔 Q 水泳学習がまもなく始まりますが、プールの水は安心ですか。 〕

プールの水は、水道水を使います。日光市では、2日間に一回程度の割合で浄水場の水の放射能測定を行っていますが、5月の測定結果では放射性ヨウ素も放射性セシウムも検出されていません。大気中の放射性降下物も減少傾向で、最近ほとんど検出されていません。したがって、心配は無いと思いますが、日光市では水泳学習が始まる前にプールの水を検査する予定です。

〔 Q 内部被ばくは心配ありませんか。 〕

栃木県のホームページによると、現在では原発事故による大気中の放射性降下物（放射性物質）は、ほとんど検出されていません。しかし、原発事故当時に放出された放射性物質が、県内の水田土壌調査によって、（稲作にはまったく問題がない量ですが）土中から検出されています。土や砂を口に入れたり、川や水たまりの水を口にすれば、体内に放射性物質が入り内部被ばくの危険もありますが、外での活動で人体に影響を及ぼすようなことはありません。外での活動の後は、衛生面からも手洗い、うがいをするよう指導しています。

※ 最新の情報収集に努め、風評に惑わされず正しい情報に基づいて、子どもたちが生き生きと元気に活動できるよう見守っていきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。